

科目名	語学特講 (ドイツ語 II) Language Seminar II (German II)			担当教員	河野 通弘		
学年	4年	学期	通年	履修条件	選択	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	15120040	単位区分	履修単位
学習目標	国際的な知識や情報を得る一助として、ドイツ語の知識を活用して、ヨーロッパで現在中心的な役割を果たしているドイツについて、社会文化、社会システム、政治経済状況などを知る。						
進め方	3年生で習得した文法知識を復習しながら進む。毎週テキストから課題の個所を指定するのでその日本語訳をレポートとしてかならず提出してもらう。双方向の授業をはかっていく。						
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
	1. 文法の復習と練習問題 (4) 2. Neuigkeiten aus Deutschland '13-14 (10) (1) Sport			基礎文法の習得、とくに動詞・形容詞の語尾変化、受動態、完了形、接続法 I 式・II 式について練習問題が解け、説明できること。 テキストの内容・意味をきちんと把握し説明できること。 学習・教育目標との関連：(A-1) [A-1]			
	[前期中間試験] (2)						
	3. Neuigkeiten aus Deutschland '13-14 (14) (2) Kultur			ドイツ語文章の文法的把握ができ、テキストの内容・意味をきちんと説明できること。 日本語としての正確な訳ができること。 学習・教育目標との関連：(A-1) [A-1]			
	前期末試験						
	4. Neuigkeiten aus Deutschland '13-14 (14) (3) Wirtschaft (4) Politik			ドイツ語文章の文法的把握ができ、テキストの内容・意味をきちんと説明できること。 日本語としての正確な訳ができること。 学習・教育目標との関連：(A-1) [A-1]			
	[後期中間試験] (2)						
	5. Neuigkeiten aus Deutschland '13-14 (14) (4) Politik (5) Gesellschaft			ドイツ語文章の文法的把握ができ、テキストの内容・意味をきちんと説明できること。 日本語としての正確な訳ができること。 学習・教育目標との関連：(A-1) [A-1]			
	後期末試験						
	試験返却 (1)						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 評価の内訳は、前期定期試験と後期試験の成績 (80%) とレポート評価点 (20%)。 学習項目ごとの全体評価の重みは、1～3を50%、4～5を50%とする。 						
履修要件	ドイツ語 I を習得済であること。						
関連科目	語学演習 (ドイツ語 I) (3 学年) → 語学特講 (ドイツ語 II) (4 学年)						
教材	教科書：Andrea Raab, Toshiko Ishii, "Neuigkeiten aus Deutschland '13-14" (Asahi Verlag)						
備考	単位追認試験は実施する。再試験については、不合格者の状況を見て判断する。 教科書で取り上げる項目は、受講学生の強い要望がある場合、変更する場合がある。						